

ヒメヒミズ

Dymecodon pilirostris

モグラ目モグラ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

県内では、白山地域の山地帯から高山帯を中心とする限られた地域に分布する。日本固有種。

形態

外形はモグラとトガリネズミの間ぐらいの小型のモグラ類。吻は非常に細長く、耳介を欠く。手の巾が長さより小さく、爪は扁平で真直ぐ。上顎の門歯は大きく、先端がへら状。下顎歯数は片側9本（うち前臼歯4本）（ヒミズは下顎歯数8本でうち前臼歯3本）。背面が黒色または黒褐色、腹面は淡色。体重約8～14.5g、頭胴長70～84mm、尾長32～44mm、後足長12.8～15.2mm（阿部ほか 1994）。

国内分布

本州、四国、九州に分布する。

県内分布

県内では金沢市、白山市（旧吉野谷村、尾口村、白峰村）で49件78頭の資料が得られ、13メッシュに分布している（林・子安,2000）。白山地域の高標高地では白山四塚山(2450m)やトンビ岩周辺(2400m)など、低標高地では金沢市二又地域（標高400m）や白山市（旧尾口村）釜谷（標高500m）が知られている。富士山、磐梯山、丹沢山など国内のヒメヒミズの分布の下限域はおおむね標高約1,000mと言われているので（今泉,1973、木村,1984、小林・山口1971）、白山地域の低標高地の分布は全国的には希少と思われる。

生態

比較的標高の高い地域の草地、低木林、高木林の落葉層や腐食層にすみ、主に昆虫類やミミズ類を食べている。近接地にヒミズが生息している場合、本種は土壌の浅い場所や岩礫地に住んでいることが多い（阿部ほか,1994）。

生息地の条件

主に白山地域の山地帯～高山帯。

生存の危機

白山地域の山地帯、亜高山帯、高山帯の保全が継続的に必要。（A）

特記事項

日本哺乳類学会(1997)では普通種として記載。四国、九州、紀伊半島は保護すべき地域個体群としている。

参考文献

林哲・子安和弘 2000. 石川県におけるヒミズ類の分布. 石川県白山自然保護センター研究報告. 27:29-36.

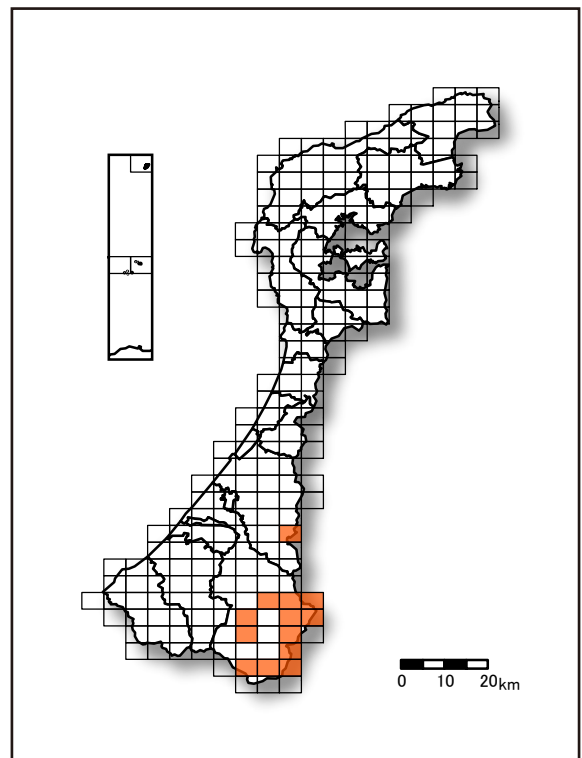
今泉吉晴 1973. 富士山麓・青木が原の地下生活者 アニマ9.4-20. 平凡社.

木村吉幸 1984. 磐梯山地域における食虫類とネズミ類の群集密度について. 哺乳動物学雑誌. 10(2). 87-97.

小林峯生・山口佳久 1971. 丹沢山塊におけるヒメヒミズの分布と小哺乳類相について. 神奈川県立博物館調査研究旧報告. 自然科学. 4. 1-23.



写真提供者:子安和弘



県内の分布